

報道関係者各位

株式会社 BCN
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-12-5 内山ビル
TEL: 03-3254-7801

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします
BCN AWARD 委員会
E-MAIL : bcn_award@bcn.co.jp

デジタル家電やパソコンなどの年間販売数 No.1 「BCN AWARD 2024」 受賞社発表 ～あわせて「BCN IT ジュニア賞 2024」受賞者を発表～

株式会社 BCN(本社:東京都千代田区、奥田芳恵 代表取締役社長)は 1 月 22 日、「BCN AWARD 2024」の受賞社を発表した。全国の主要家電量販店やカメラ量販店、パソコン専門店、ネットショップなどの実売データをもとに、デジタル家電やパソコン関連製品の販売実績を集計し、部門別に 2023 年の年間販売数 No.1 メーカーを表彰するもの。25 回目を迎える今回は、111 部門で 56 社が受賞した。あわせて、IT に取り組む若者を対象としたコンテストで優秀な成績を収めた個人やチームを表彰する「BCN IT ジュニア賞 2024」の受賞者も発表した。

【初受賞や新設部門など、受賞社の主な顔ぶれ】

デジタル家電やパソコン、それらの関連製品とソフトウェアの部門別販売数年間 No.1 メーカーを決める BCN AWARD 2024。今回は、ハードウェア 88 部門で 44 社、ソフトウェア 23 部門で 12 社、計 111 部門で 56 社が受賞した。今回から新たに「双眼鏡」部門を新設。また、従来の「PND」部門は現在の市況に即して「カーナビ」部門へと変更している。

初受賞社は 10 社。新設部門の「双眼鏡部門」ではケンコー・トキナーが受賞した。このほか「交換レンズ部門」でシグマ、「PC カメラ部門」でティーピーリンクジャパン、「モバイル Wi-Fi ルーター部門」で NEC プラットフォームズ、「ホーム Wi-Fi ルーター部門」でシャープ、「液晶テレビ(4K 以上)部門」で TVS REGZA、「BD・DVD プレーヤー部門」でパナソニック、「ワープロ・エディタソフト部門」で日本マイクロソフト、「文書管理ソフト部門」でアドビ、「サウンド関連ソフト部門」で AHS が、それぞれの部門で初めての栄冠を手にした。ソフトの 3 部門はいずれも長年 No.1 の座を堅持してきたメーカーからの首位交代で、市場の変化を感じる出来事となった。

また、複数のメーカーが No.1 の座に返り咲いた。「KVM 切替器部門」ではサンワサプライが 10 年ぶりに BCN AWARD を獲得したのをはじめ、「ワイヤードスピーカー部門」ではエレコムが 6 年ぶり、「デジタルビデオカメラ部門」ではソニーが 3 年ぶりに No.1 となった。「インクジェットプリンタ部門」でエプソン、「DTM 関連機器部門」でヤマハ、「デジタルカメラ(ミラーレス一眼)部門」でソニー、「デジタルカメラ(レンズ一体型)部門」でキヤノンが、それぞれ 2 年ぶりに BCN AWARD を奪還した。
(そのほかの各部門、受賞社は「BCN AWARD 2024 受賞社一覧」をご参照ください)

【25 回連続受賞】

BCN AWARD の創設以来 25 回連続で BCN AWARD を受賞したメーカーは次の通り (5 社 9 部門)。

- ・バッファロー「LAN カード部門」 ・ワコム「ペンタブレット部門」
- ・日本マイクロソフト「OS 部門」「統合ソフト部門」「データベースソフト部門」
- 「表計算・グラフソフト部門」「プレゼンテーションソフト部門」
- ・弥生「業務ソフト部門」 ・ソースネクスト「葉書・毛筆ソフト部門」

<BCN AWARD とは>

「BCN AWARD」は、全国の主要な家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの実売データを集計する BCN が、そのデータをもとに部門ごとの年間（1月1日～12月31日）販売数累計第1位のメーカーを表彰する制度です。「BCN AWARD 2024」は、全国 21 社／2396 店舗（※）を対象に 2023 年の年間販売数を集計し決定しました。受賞社の決定にあたっては、5 名の有識者からなる認証委員会を設置し、委員会の認証を経る公正な評価システムを導入しています。

<実売データ提供販売店>

アマゾン・ジャパン、エクスプライス、エディオン、NTT ドコモ、玉光堂、ケーズホールディングス、コジマ、サードウェーブ、サンキュー、上新電機、ストリーム、ソフマップ、ZOA、ナニワ商会、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、三星カメラ、ムラウチドットコム、ユニットコム、楽天ブックス、綿半ドットコム（50音順）

※ 2023 年 12 月現在。集計対象社は、BCN と販売店との間でデータ提供契約を締結している法人数をカウントしています。また、店舗数は新規出店/統廃合などにより若干変動いたします

BCN AWARD 2024 受賞社一覧

<ハードウェア部門 88部門 44社>

部門名	受賞社	受賞回数
デスクトップPC部門	富士通クライアントコンピューティング株式会社	7年連続9回目
ノートPC部門	NECパーソナルコンピュータ株式会社	13年連続17回目
タブレット端末部門	Apple Inc.	13年連続13回目
タブレット端末アクセサリ部門	エレコム株式会社	13年連続13回目
液晶ディスプレイ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	8年連続9回目
VR・ARゴーグル部門	Meta Platforms, Inc.	5年連続5回目
インクジェットプリンタ部門	セイコーエプソン株式会社／エプソン販売株式会社	13回目
ページプリンタ部門	ブラザー工業株式会社／ブラザー販売株式会社	2年連続8回目
サーマルプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	19年連続19回目
複合プリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	5年連続10回目
フォトプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	10年連続11回目
HDD外付部門	株式会社バッファロー	16年連続21回目
HDD内蔵部門	ウエスタンデジタル合同会社	3年連続9回目
NAS部門	株式会社バッファロー	11年連続11回目
記録型DVDドライブ部門	株式会社バッファロー	4年連続13回目
SSD外付部門	株式会社バッファロー	4年連続4回目
SSD内蔵部門	マイクロンジャパン株式会社	2年連続5回目
メモリ部門	シー・エフ・デー販売株式会社	13年連続13回目
マザーボード部門	ASUS JAPAN株式会社	19年連続21回目
メモリカード部門	ウエスタンデジタル合同会社	5年連続11回目
USB部門	エレコム株式会社	8年連続23回目
カードリーダー部門	株式会社バッファロー	2年連続9回目
拡張インターフェース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	15年連続15回目
USBメモリ部門	株式会社バッファロー	4年連続11回目
KVM切替器部門	サンワサプライ株式会社	3回目
PCケース部門	Thermaltake Technology Co., Ltd. / 株式会社アスク	6年連続6回目
ベアボーン部門	ASRock Incorporation	5年連続5回目
PC電源部門	シー・エフ・デー販売株式会社	13年連続13回目
ドライブケース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	14年連続16回目
ワイヤードスピーカー部門	エレコム株式会社	12回目
ワイヤレススピーカー部門	ハーマンインターナショナル株式会社	6年連続6回目
DTM関連機器部門	ヤマハ株式会社／株式会社ヤマハミュージックジャパン	3回目
映像関連ボード部門	グーグル合同会社	10年連続10回目
サウンド関連ボード部門	エレコム株式会社	3年連続3回目
グラフィックボード部門	エムエスアイコンピュータージャパン株式会社	5年連続5回目
ホームシアターシステム部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	5年連続10回目
スピーカーシステム部門	ヤマハ株式会社／株式会社ヤマハミュージックジャパン	2年連続6回目
AVアンプ部門	株式会社ディーアンドエムホールディングス	5年連続5回目
ヘッドホン・イヤホン(ワイヤード)部門	株式会社オーディオテクニカ	2年連続13回目
ヘッドホン・イヤホン(ワイヤレス)部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	2年連続3回目
携帯オーディオ部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	13年連続13回目
携帯オーディオアクセサリ部門	エレコム株式会社	17年連続17回目
ICレコーダー部門	OMデジタルソリューションズ株式会社	9年連続17回目
電子ピアノ部門	ヤマハ株式会社／株式会社ヤマハミュージックジャパン	2年連続6回目

部門名	受賞社	受賞回数
LANカード部門	株式会社バッファロー	25年連続25回目
HUB部門	株式会社バッファロー	23年連続24回目
ルータ部門	株式会社バッファロー	21年連続22回目
無線LAN部門	株式会社バッファロー	22年連続22回目
PLC部門	ティーピーリンクジャパン株式会社	3年連続3回目
UPS部門	シュナイダーエレクトリック株式会社	9年連続15回目
スキャナ部門	株式会社PFU	14年連続14回目
デジタルカメラ(レンズ一体型)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	18回目
デジタルカメラ(一眼レフ)部門	キヤノン株式会社/キヤノンマーケティングジャパン株式会社	16年連続18回目
デジタルカメラ(ミラーレス一眼)部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	4回目
デジタルビデオカメラ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	13回目
アクションカメラ部門	GoPro, Inc.	9年連続9回目
交換レンズ部門	株式会社シグマ	初受賞
三脚・一脚部門	ハクバ写真産業株式会社	4年連続6回目
カメラケース・バッグ部門	ハクバ写真産業株式会社	8年連続8回目
双眼鏡部門	株式会社ケンコー・トキナー	初受賞
PCカメラ部門	ティーピーリンクジャパン株式会社	初受賞
マウス部門	エレコム株式会社	24年連続24回目
キーボード部門	株式会社ロジクール	12年連続12回目
ゲームコントローラ部門	株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	2年連続2回目
10キーボード部門	エレコム株式会社	8年連続18回目
ペンタブレット部門	株式会社ワコム	25年連続25回目
スマートフォン部門	Apple Inc.	13年連続13回目
キャリアフリースマートフォン部門	Apple Inc.	4年連続4回目
モバイルWi-Fiルーター部門	NECプラットフォームズ株式会社	初受賞
ホームWi-Fiルーター部門	シャープ株式会社/シャープマーケティングジャパン株式会社	初受賞
スマートフォンケース部門	エレコム株式会社	11年連続11回目
スマートフォン保護シート部門	エレコム株式会社	8年連続8回目
モバイルバッテリー・充電器部門	エレコム株式会社	10年連続10回目
電子辞書部門	カシオ計算機株式会社	19年連続19回目
電子文具部門	株式会社キングジム	3年連続10回目
CDメディア部門	マクセル株式会社	8年連続13回目
DVDメディア部門	マクセル株式会社	8年連続14回目
BDメディア部門	マクセル株式会社	7年連続7回目
液晶テレビ(4K未満)部門	TVS REGZA株式会社	3年連続3回目
液晶テレビ(4K以上)部門	TVS REGZA株式会社	初受賞
有機ELテレビ部門	ソニー株式会社/ソニーマーケティング株式会社	7年連続7回目
デジタルチューナー部門	株式会社アイ・オー・データ機器	8年連続11回目
BD・DVDレコーダー部門	パナソニック株式会社/パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社	13年連続15回目
BD・DVDプレーヤー部門	パナソニック株式会社/パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社	初受賞
プロジェクター部門	セイコーエプソン株式会社/エプソン販売株式会社	20年連続20回目
カーナビ部門	パナソニック株式会社/パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社	7年連続9回目
ドライブレコーダー部門	株式会社コムテック	7年連続7回目
LED電球・蛍光灯部門	アイリスオーヤマ株式会社	4年連続5回目

<ソフトウェア部門 23部門 12社>

部門名	受賞社	受賞回数
OS部門	日本マイクロソフト株式会社	25年連続25回目
統合ソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	25年連続25回目
ワープロ・エディタソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	初受賞
文書管理ソフト部門	アドビ株式会社	初受賞
データベースソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	25年連続25回目
表計算・グラフソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	25年連続25回目
データ管理ソフト部門	株式会社デネット	8年連続8回目
セキュリティソフト部門	トレンドマイクロ株式会社	2年連続15回目
プレゼンテーションソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	25年連続25回目
グラフィックスソフト部門	アドビ株式会社	5年連続20回目
ビデオ関連ソフト部門	サイバーリンク株式会社	9年連続11回目
画像処理ソフト部門	アドビ株式会社	22年連続22回目
サウンド関連ソフト部門	株式会社AHS	初受賞
業務ソフト部門	弥生株式会社	25年連続25回目
通信ソフト部門	株式会社インターコム	24年連続24回目
CADソフト部門	エーアンドエー株式会社	8年連続8回目
申告ソフト部門	弥生株式会社	20年連続20回目
システムメンテナンスソフト部門	AOSデータ株式会社	15年連続15回目
ユーティリティソフト部門	株式会社AHS	7年連続7回目
トレーニングソフト部門	ソースネクスト株式会社	23年連続24回目
テンプレートソフト部門	株式会社日本法令	3年連続3回目
葉書・毛筆ソフト部門	ソースネクスト株式会社	25年連続25回目
PCゲームソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	2年連続2回目

< BCN IT ジュニア賞 2024 >

株式会社 BCN は、技術立国日本の次代を担う若い世代にもものづくりの情熱を伝え、IT 産業に一人でも多くの優秀な人材を迎えるために、2006 年に「BCN IT ジュニア賞」を創設。今回で 19 回目を迎える。

「BCN IT ジュニア賞」は、IT に取り組む若者を対象としたコンテストで優秀な成績を収めるなどすぐれた技術をもつ IT ジュニアの学生を、「BCN IT ジュニア U-16 賞」は各地で開催されている 15～16 歳以下を対象とする「U-15/U-16 プログラミングコンテスト」の優勝者を表彰する制度。

< 「BCN IT ジュニア賞 2024」受賞チーム・受賞者 >

- ・チーム「宮城県工業高等学校」（宮城県工業高等学校）
- ・河井結羽（四国職業能力開発大学校）
- ・稲形将也（長崎県立長崎工業高等学校）
- ・チーム「転生将棋」（熊本高等専門学校）
- ・チーム「わんもあ」（香川高等専門学校）
- ・チーム「蟹高専」（福井工業高等専門学校）
- ・真家彩人（東京大学）
- ・小田悠真（市立札幌大通高等学校）
- ・小林悠太（つくば市立手代木南小学校）
- ・小林幸ノ心（小平市立小平第二小学校）

< 「BCN IT ジュニア U-16 賞 2024」受賞者 >

- 須貝蒼太（札幌日本大学高等学校）
- 藤田透羽（一関市立中里小学校）
- 大和佑（一関市立桜町中学校）
- 河地智陽（八王子市立由井第三小学校）
- 伊藤修一（八王子市立いずみの森義務教育学校）
- 菅野正礎（N 高等学校）
- 飯島晴斗（錦城学園高等学校）
- 上田惇人（京都橘中学校）
- 青柳篤司（山梨市立笛川中学校）
- 吉田怜一（山梨学院小学校）
- 隋家銘（信州大学教育学部附属長野小学校）
- 太田嵐（長野市立信州新町中学校）
- 倉橋奏悟（豊橋市立市場中学校）
- 高土草太（松坂市立米ノ庄小学校）
- 山本颯大（上富田中学校）
- 縄田嵐（大島商船高等専門学校）
- 池本舷生（宇部フロンティア大学附属中学校）
- 山本恭大（阿波市立八幡小学校）
- 近藤彰（阿波市立市場中学校）
- 山岡奏太（愛光中学校）

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

BCN AWARD 委員会

TEL: 03-3254-7801

E-MAIL: bcn_award@bcn.co.jp